

平成21年4月28日

Q 豚インフルエンザはどのような病気ですか。

A A型のインフルエンザウイルスで起きる病気で、豚が感染すると発熱、せき、鼻水などの症状を示しますが、一過性で通常1週間ほどで自然治癒します。  
このため、豚が感染しても高病原性鳥インフルエンザのような処分を行う必要はありません。

Q 国内でも発生していますか。

A 国内でも時々感染した豚が見つかりますが、たくさんの豚が死んだり、感染が広がっていくような大きな問題にはなったことはありません。

Q 養豚場で人が感染することはありますか。

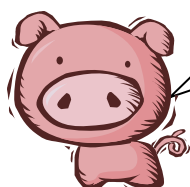
A 我が国では、本病が人に感染したとの報告は今までありません。畜舎に出入りする際の作業着、長靴、手指の消毒などをきちんと行うほかマスクを着用するなどの衛生管理を行っていれば心配する必要はありません。豚に異常があった場合は、獣医師などに相談しましょう。

Q 養豚場の周辺に住む人たちに感染する可能性はありませんか。

A 豚インフルエンザは感染した豚に人が濃密に接触することでまれにうつることがあります。しかし、直接触れる機会がない養豚農場の周辺の方々が感染を心配される必要はありません。

Q 豚肉は安全ですか

A これまでも、豚肉を食べてインフルエンザに感染したという報告はありません。豚肉はと畜工程において、高压洗浄や次亜塩素酸ナトリウムなどによる消毒で殺菌されています。食品安全委員会からも、豚肉は安全であるとの見解が示されています。  
さらに、豚肉は、生で食べることはなく、加熱調理されれば、ウイルスは死滅するので問題ありません。



養豚農家の皆様も引き続き飼養衛生管理の徹底をお願いします！